

# きんもくせい

編集目標 人間尊重の教育を求めて

平成29年 学校教育だより

March **3** 第332号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会  
発行・埼玉県富士見市教育委員会  
電話・049-251-2711 (内線623)



自然と共に学ぼう

写真提供／西中学校

## 「成長する私」

水谷小学校六年

佐藤 萌香

アルバムを見た

笑ってピースする自分がいた

それはすごく幼くて

自分じゃないみたいだ

成長って早いなあ

気付かないけど大切なことだ

これからまた年月が経ち

今の私を

なつかしいねって

家族と笑う私がいる

時はすぐ経つ

私も大人になってゆく

体験を通してよさを実感する子どもたち

学級会の実践を重ねていくと、子ども達はだんだんと変わっていきま... 進め方がよくわからない、何を話し合うのがよくわからない、どんな意見を言えばよいのかわからない。始めは、そんな様子でした。そのような中でも、毎回、学級会ノートをつくり事前の準備をおこない、基本的な流れに沿って話し合いを進め、決まったことに協力して取り組んでいく。そして、その活動のよさを振り返る。そのような活動を通じ、子ども達は前向きに話し合うようになり、積極的に意見を出し合い、またなぜそう思うのか、根拠を明らかにして伝えることができるようになった。いろいろな友達と協力して取り組むことが自然にできるようになっていきます。そのような中で、自分自身も学級会をどのように指導したらよいかわかるようになり、子ども達に寄り添って指導できるようになりました。体験を通して学級会のよさを子どもと共に実感しています。

学校研究の取組

本校では、「思いやりをもち、互いによりよく生きようとする児童の育成」を伝えるために、認め合う学級活動を通して「く」をテーマとして、昨年度、今年度の二年間で学級活動の指導法等について、学校研究に取り組んでいます。学級活動で行う学級会で、話し合いが活発におこなわれるための指導をどのようにしたらよいか悩むところです。本校では、次の視点に全校で取り組むことで、学級会の進め方や教師の関わり方などについて理解を深め、実践を重ねています。

関沢小学校 教諭 東野 有希子

楽しく豊かな学級をつくる学級会の実践

わかる授業 = 小学校 特別活動 =

りのある話し合いにすることが出来ます。

授業実践

二学期も終わりに近づいた十二月十二日に、私のクラスで学級会を行いました。

二学期ががんばったね会をしよう

〔提案理由〕

二学期がもうすぐ終わるから、楽しくなかよく三年二組らしく終われるようにしたいからです。そうすると三学期もみんな、なかよく元気に登校できると思うからです。

校できると思っています。

〔めあて〕

二学期楽しかったことが思い出せる会にしよう

〔話し合うこと〕

①何をするか

②もり上げるためのくふう

③役わりぶんなん

〔決まっていること〕

・十二月二十一日の三時間目に教室で行う

・お金がかからないようにする

・プログラム

①始めの言葉

②③話し合い決定する

行きました。上級学校を見学する事で、自分の進路について考える事ができました。校外学習は、大宮の鉄道博物館を見学して、鉄道の歴史を学ぶことができました。A組の生徒は、いろいろな取組を通して、自立する力をつけられるように頑張っています。



特別支援教育

「本郷中学校A組の取組」

本郷中学校 教諭 鈴木 和男

本郷中学校の「A組」は、男子二名、女子二名の四名で毎日楽しく頑張っています。授業は皆真剣に取り組みんでおり、質問を積極的にします。

行事は体育祭、合唱コンクール、ロードレース大会に通常学級の生徒と一緒に参加しています。通常学級の生徒と交流しながら学校行事を楽しんでいます。また、

針ヶ谷小学校 6年 坪井 史花



私は、この1年間を楽しんで過ごしました。4月、6年生というプレッシャーに不安を感じていました。でも先生や家族、友達が助けてくれて、ここまでの行事を成功させ充実した生活を送ることができました。今、私は卒業や中学校入学に向けて進んでいます。

仲間と未来へ

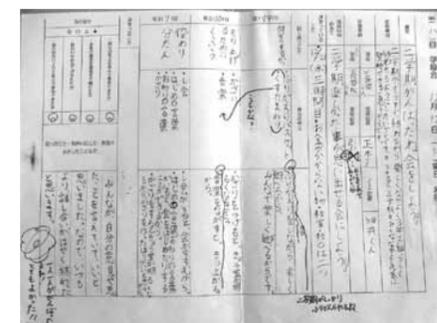
卒業式では呼びかけの中で6年生が合唱する曲の伴奏を練習しています。また、進学に向けて少しずつですが、数学と英語の問題を解いています。卒業という一つの区切り、そして入学という新たなスタートを機にまたいろいろなことにチャレンジしていきたいです。



「思いを伝え合う」

学級会は、相手を言いくるめたり、一人一人が意見を言ったらずれば終わりではありません。クラスで生活していく中で生じた課題の解決や、さらによいクラスになるためにどうしていくのか話し合いを通して、思いを伝え合うことが大切となります。そのような話し合いをするためには、次のようなポイントがあります。

- ・ 何を話し合うのかを明確にする
- ・ 何を決めればよいのかを整理する
- ・ 条件や見通しをふまえることができるようにする
- ・ どうして話し合うのかについて共通理解を図る
- ・ 話し合うこと
- ・ 何を決めればよいのかを整理する
- ・ 条件や見通しをふまえることができるようにする



ノートを使って、これらをつまえた上で事前に意見を考えて臨むことで、さらに深ま

④終わりの言葉

〔話し合うこと〕

①で決まった「何でもバスケット(2学期振り返りバスケット)」について話し合いの様子を聴いていると、子どもたちは、自分が発表する意見に対する理由として、めあてにあるように「2学期楽しかったことを思い出せるからです。」と口々に言っています。

②では、「かざり、くす玉クリスマスツリー」の3つに決まりました。

①で決まった「何でもバスケット(2学期振り返りバスケット)」について話し合いの様子を聴いていると、子どもたちは、自分が発表する意見に対する理由として、めあてにあるように「2学期楽しかったことを思い出せるからです。」と口々に言っています。自分が好きだから、したいからではなく、めあてを意識できていたからこそ出た意見だと実感しました。

②では、「かざり、くす玉クリスマスツリー」の3つに決まりました。

指導・講評 関沢小学校長 今井 寛

東野教諭の授業は、二年間学校研究として取り組んできた成果がよく現れた授業です。大半の児童が、自信をもって学級会に参加し活発な話し合いがもたれました。一つ一つの話し合いを大切に、友達への考えのよさに気付いたり折り合いの付け方を学んだりしています。話し合い活動を通して、個人から集団を意識し、みんなの力でよりよい学級を作っていくことを期待します。



子育てでの一喜一憂

みずほ台小 保護者 八木橋 覚

うちには、高二と小四の二人の息子がおります。
幸いなことに、私は上の子が生まれた時から子育てに積極的に関わることができ、成長をいつも間近で感じることが出来て



小学校入学後に担任の先生に相談した時に「お父さん大丈夫ですよ。息子さんの笑顔は周りのみんなを明るくしてくれて



ご理解ご協力があったので事だと思っております。子どもたち個人の主張を聞いてくれて



全校びかびか大作戦

ふじみ野小学校

ふじみ野小学校では、「全校びかびか大作戦」という活動を行っています。「全校びかびか大作戦」とは、月一、二回行うたてわり班清掃の

言葉はなくとも、隅々まで掃除をしたり、熱心に机を運んだりする上級生の姿を



実させ、学校をびかびかにしています。

『社会を生き抜く力』

勝瀬中学校

「勝瀬中の自慢は？」と生徒に聞くと、ほとんどの生徒が「あいさつ」「行事」と答えます。

五月の体育祭は、勝瀬中の顔です。色別の団やクラスで、丸一日全力で声を出し続ける応援。全校での全力校



生きるペース

勝瀬小学校 保護者 山本 伸江

私には二人の息子がいます。今年の四月からは、長男が高校二年生、次男が中学一年生

もちろん、五年生の教室には行かれなかったので、グラウンドで遊んでいる兄の所に行く

教育課題特集 はぐくむ 生きる力を

～学校・家庭・地域から～

給食から思うこと

学校給食センター 鶴瀬小学校 栄養教諭 西塚 千春

給食センターでは、市内の全小中学校約九千人分の給食を調理、提供しています。栄養教諭である私は、献立作成等の給食管理をしながら、各

になってほしい、目の前の食事に関わる全ての人や命を大切に思える人になってほしい、そんな思いで日々子どもたち





諏訪小

保健委員会による手洗い講座
児童朝会で保健委員会が手洗いの大切さについて発表しました。今後とも健康に関する意識を高めていきます。



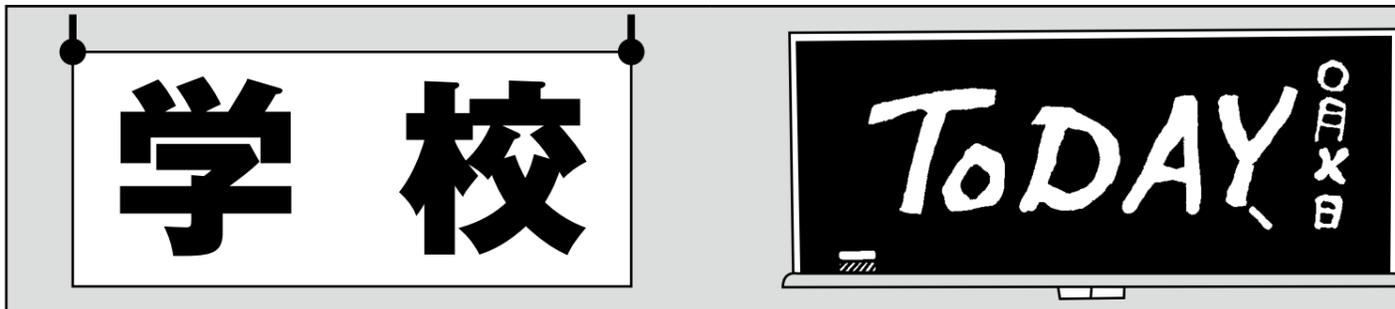
水谷東小

にこにこもぐもぐ、たてわり給食
年に3回1年生から6年生までのたてわりグループのメンバーと一緒に給食を食べ、楽しく話をしながら交流を深めます。



みずほ台小

みずほ台小学校開校40周年式典
みずほ台小学校の開校40周年記念式典が行われました。みずほ台の歴史に触れ、歌を歌ってお祝いしました。



針ヶ谷小

伝統の針小郷土かるた大会
静寂の後、読み札が読まれると一斉に「はいっ！」と元気な声が体育館に響きます。針ヶ谷小の伝統行事です。



勝瀬中

スイスイスイ・スキー
1月15日～17日の2泊3日で、スキー実習が行われました。滑って、転んで、みんなで共通体験！



関沢小

糸車出前教室でビックリ！
1年国語「たぬきの糸車」の学習に合わせ、難波田城資料館の皆様にお越しいただき、糸車の体験をしました。

子ども達はこの一年で多くを経験し、大きく成長することができました。子ども達は、学校の先生だけでなく、地域の方々からたくさんのお話を教えていただき学ぶことができました。また、多くの方がボランティアとして学校を支援してくださいました。心より感謝申し上げます。これからも保護者の皆様や地域の方々にはお世話になります。今後も、温かなご支援をよろしくお願ひします。



東中

今年も実った「いじめナシの木」
いじめのない学校にするための行動宣言を梨の実や葉の形の紙に書き、大きな1つの掲示物が完成しました。



西中

あいサポート研修会
社会福祉協議会の皆様を講師にお招きし、開催しました。生徒は真剣に話を聴き、手話等を学びました。



勝瀬小

みんなでがんばったエイフェス
回数を数える声が校庭に響きます。勝瀬の1月の恒例行事エイフェスです。みんなの目標に向かってがんばっています。

II 市教育相談室より II 『特別支援教育』

発達障がいのある子どもの「つまずき」に気づいて、どのような配慮が必要かを考えてみます。

整理整頓が苦手な子

机の上や周囲がいつも物でいっぱい、必要な物をすぐ出せず、大切な物をなくすことが多い子がいます。後片付けが必要ときに、他の事に注意がそれ、見通しをもって物事を考える力や計画的に行動する力が弱いことが考えられます。

対応策としては……

- 自分で管理できるものの量を考え、必要最低限にします。
●片付ける場所や入れ方を一つずつ具体的に教え、練習します。場合によっては、その子専用の片付け箱を用意します。
●必要なものだけを取り出し、こまめにしようよう声かけをします。
●作業と作業の間の片付け時間を取り、持ち物の整理日を設けます。

乱暴な言葉や態度が目立つ子

聞いている方がいやな気分になってしまふような言葉や態度を言ったり、ぶつ、ける物を投げるなどの攻撃的な態度をとったりしがちな子どもがいます。まず、どのような状況でこのような言葉や行動になるのか見極めましょう。

- ? 苦手な学習や自信のない課題ではないだろうか。
? 注意や指示でイライラしているのか。
? 自分の気持ちをうまく表現できないからなのか。
自信がなく、見通しがもてないことへの不安が強く、自分を守るために攻撃的な言葉や態度で抵抗していることが考えられます。また、状況理解や言語理解ができず、混乱していることが考えられます。
対応策としては……
●見通しが持てるように具体的に達成可能な目標を設定し、視覚的に手順を示します。
●すぐに評価し、「できた」「やった」という自己有用感を高めます。
●穏やかな口調で話し、落ち着いた状況で短い指示をします。
●相手を傷つけずに、自分の気持ちを話す経験を積んでいきます。
●落ち着ける場所を別に用意します。

子どもは一人一人違います。同じような行動でも背景となることが違えば配慮も異なってきます。発達障がいのある子どもは「困った子」ではなく「困っている子」です。保護者と学校が子どもの状況を理解して適切な支援の仕方を一緒に工夫し、確認し合いながら配慮していくことが何よりも大切です。

(問合せ) 富士見市教育相談室

TEL 049-1253-1531 3

# 教育委員会だより

## 卒業おめでとございます

今春、1839名のみなさんが、市内の小・中・特別支援学校を卒業します。保護者のみなさまには、お子様の成長を振り返り、感慨もひとしおのことでしょう。

卒業生のみなさんは、通い慣れた学校と一緒に過ごした仲間たちとの別れに寂しさを感じながらも、これからの生活にわくわく胸を弾ませているのではないのでしょうか。新しい場所で、たくさんの人との出会いを通して、広い視野をもった心豊かな人に成長することを願っています。

在校生のみなさん、4月から1学年ずつ進級します。この1年間を振り返り、新しい目標に向かって、たくましく元気に学校生活を送りましょう。

平成29年度富士見市立小・特別支援学校入学式  
期日：4月10日(月)

※2月13日現在

学校名	開式時刻	入学見込人数
鶴瀬小学校	10:40	102
水谷小学校	10:50	94
南畑小学校	10:45	47
関沢小学校	11:00	84
勝瀬小学校	10:50	105
水谷東小学校	11:00	47
諏訪小学校	10:50	131
みずほ台小学校	11:00	89
針ヶ谷小学校	10:45	52
ふじみ野小学校	10:50	108
つるせ台小学校	10:40	104
富士見台中学校	9:30	178
本郷中学校	9:50	140
東中学校	9:50	93
西中学校	9:20	158
勝瀬中学校	10:05	230
水谷中学校	9:15	91
富士見特別支援学校	10:20	24



クルスの横顔

### 友だちがいるからがんばれる

鶴瀬小学校 教諭 内田 明子

四月、希望いっぱい、目をキラキラさせて入学してきた子ども達。入学式から「先生早く勉強しようよ!」と、学校生活を楽しみにしている

時のことです。一人一人が目標を発表し終わると、クルスの友達へ応援の手紙を書いたとの声があがりました。早速、隣の席の子へ、班の子へ

「私の目標と同じだね。頑張ろうね。」「緊張するけど、大丈夫だよ。」「音楽が得意だから教えてあげるね。」「一緒に練習しようね。」と、心温まる手紙が、目標を書いた紙に次々と貼られていきます。手紙を読んだ子ども達の顔は、たちまち笑顔になりました。また一つ、クルスが団結した時間でした。

その後、互いに教え合ったり練習する姿がありました。音楽会当日は、大きな口を開けて堂々と歌を歌ったり、指をたくさん動かして一生懸命に歌ったりすることができ、大成功!一人一人目標を達成することができ、自信のついた音楽会になりました。早いもので、もうすぐ一年が終わろうとしています。今は学習発表会に向けて、励まし合いながら頑張っています。自然と応援でき、励まし合えるこの子たちが、どう成長するのかとても楽しみです。

### 編集日記

論語の中で孔子は、「十五歳は志学、三十歳は而立、四十歳は不惑、五十歳は知命、六十歳は耳順、七十歳は從心」と言った。「志学」とは、学問で身を立てる決心をしたという意味で、十五歳で自分の興味はどこに向いているか決めなさい、ということである。進学・進級という、新たな道を進んでいく時期になった。義務教育を終える十五歳、自分を生かし、自分の向かっていく方向を選んでいかななくてはいけない。とはいえ、迷うことも多いだろう。中学生への詩を三十年書き続けた詩人宮澤章二さんの詩「君たちが歩くとき」は、次のように結ばれている。君たちがあるとき君たちは一人ではない隣にも 前にも 後ろにも同じ道を歩く仲間がいる互いに支え合う仲間がいる自分の道を歩いていくためには、自らの志が必要だ。しかし、道を進むのは一人だけではない。励まし、支えてくれる仲間がきつという。そういう仲間を大切にしたい。(森田)